

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実〕〔目標値：フィッ鳥栖会員数500人〕

○この事業は、リープロ11の2-⑤、6-④に位置付けられた取組みスポーツを「する・楽しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図るために実施する事業です。具体的には、各種スポーツ教室・大会の開催、総合型地域スポーツクラブ（フィッ鳥栖）の支援、全国大会出場費の助成、サガン鳥栖の支援、地域交流推進事業の推進を実施します

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	地区スポーツ教室、青少年体力づくり推進事業、クロスロード・スポーツレクリエーション祭選手選考会を実施しました。全国大会出場費補助金は、2件14人に助成しました。また、基本毎月1回サガン鳥栖・県プロ協議会（オブザーバー）と連携会議を開催し、意見・情報交換を行い相互理解・共調に努めています。
	自己評価	各種教室・大会等は体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力を得て、開催できました。サガン鳥栖支援は、アクションプラン Ver. 2015 に基づき実施できています。
	下半期への対応	今後も、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員と連携して取り組みます。また、サガン鳥栖支援は、連携会議を基本に相互理解・共調に努め実施します。
下半期	取組実績	市民スポーツフェスタ（市民体育大会）、祝成人ロードレース大会、スポーツレクリエーション祭等の大会を実施。全国大会出場費補助金は8件29人に助成しました。また、サガン鳥栖・県プロ協議会と連携会議を開催し、意見・情報交換を実施しました。また、フィッ鳥栖と連携した教室等の取組を本年度から始めました。
	自己評価	各種大会等は体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力を得て、開催できました。サガン鳥栖支援について、アクションプラン Ver. 2015 に基づき円滑に実施できました。フィッ鳥栖との連携事業は新たな会員の確保にもつながっています。
	目標値の達成状況	本年度のフィッ鳥栖会員は329人でした。
	次年度への対応	引き続き、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員と連携して各種事業に取り組みます。また、サガン鳥栖支援については、連携会議を基本に情報共有・共調に努めます。また、フィッ鳥栖との連携事業は引き続き実施します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

スポーツ推進委員や種目団体等の関係者との連携を深め、スポーツに親しむ機会の充実に努めること。サガン鳥栖支援については、(株)サガンドリームスとの情報交換、情報共有に努めること。

下半期

市民スポーツフェスタやロードレース大会等のスポーツイベントについては、スポーツ推進委員や種目団体等の関係者の協力により円滑に実施できている。今後も連携強化に努めること。

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：スポーツ施設の整備・利用促進〕〔目標値：体育館トレーニングルーム利用者数1万人〕
 ○この事業は、リープロ11の6-⑤に位置付けられた取組み文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進を図るために実施する事業です。具体的には、(仮称)健康スポーツセンター整備事業の推進、スポーツ施設の合理的・機能的な運用を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	(仮称)健康スポーツセンター整備事業は、パブリックコメント、アンケート調査を実施し、基本設計に向け取組中です。市民庭球場南コート改修工事(人工芝化)を含む体育施設工事3件を完了しました。
	自己評価	概ね事業予定に沿った業務・工事発注ができています。施設の修繕は、特に安全性の確保に留意し、迅速な対応に努めています。
	下半期への対応	(仮称)健康スポーツセンター整備事業は、時間がかかっても丁寧に基本設計を行います。体育施設の安全性の確保・利便性の向上を図るため、迅速な対応に努めます。スタジアムのネーミングライツは、今後も継続していただけるよう日頃から誠実な対応を行います。
下半期	取組実績	年間で施設工事8件を完了しました。(仮称)健康スポーツセンター整備事業は基本設計を策定しました。また、鳥栖スタジアムネーミングライツは継続していただきました。
	自己評価	予定に沿った工事を実施しました。修繕については、概ね迅速な対応が図れました。(仮称)健康スポーツセンター整備事業は基本設計に時間がかかり、実施設計分は翌年に繰り越しました。
	目標値の達成状況	体育館トレーニングルームは年間延べ約1万3千人の方が利用されました。
	次年度への対応	安全性を第一に、気持ちよく使っていただけるスポーツ施設の管理運営に努めます。また、平成30年度開設に向け(仮称)健康スポーツセンター整備事業を推進します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

(仮称)健康スポーツセンター整備事業は、丁寧かつ十分な検討を行い、基本設計を行うこと。施設の修繕は、安全性を第一に、迅速な対応に努めること。

下半期

ネーミングライツの継続契約もいただいたことから、今後とも誠実な対応を行うこと。
 スタジアムの施設管理はもとより、体育施設の管理運営には、安全確保を念頭に適正な維持管理に努めること。
 (仮称)健康スポーツセンター整備事業は、早急の実施設設計策定に取り組むこと。

スポーツ振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

スポーツ振興課長 石丸健一

重点事業の概要〔事業名：スポーツを担う人材・団体の育成・支援〕〔目標値：スポーツセミナー開催4回40人〕

○この事業は、リープロ11の6-⑥に位置付けられた取組みスポーツを担う人材・団体の育成・支援のために実施する事業です。具体的には、・鳥栖市体育協会の支援、スポーツ推進委員会の支援を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	体育協会の総会を始めとする各種会議を支援し、県体に向け選手・練習の強化を要請しました。スポーツ推進委員は、本年度から増員した弥生が丘地区6人の選任もスムーズに行うことができました。また、毎月の定例会、地区スポーツ教室及び実技研修会の開催を支援しました。
	自己評価	土・日・祝の対応ができることなどのスポーツ振興課の利点を活用しながら、スポーツ団体等の相談・支援に努めています。また、体育協会やスポーツ推進委員会と連携した取り組みができています。
	下半期への対応	スポーツの推進を図るためには、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員の協力は不可欠であり、連携して取り組むためにも、支援・育成に努めます。
下半期	取組実績	体育協会の各種会議を支援するとともに、県体に向けた選手・練習の強化を支援し、大会当日の激励を実施しました。スポーツ推進委員会の毎月の定例会や研修会の開催を支援しました。
	自己評価	体育協会・種目競技団体の奮闘により県体は前年と同じ4位でした。
	目標値の達成状況	人材育成を目的に、指導者を対象としたスポーツセミナーをフィッ鳥栖と連携して開催し、40人の参加を得ました。
	次年度への対応	体育協会・種目競技団体、スポーツ推進委員及びフィッ鳥栖と連携してスポーツ振興に取り組むために、引き続き支援・育成に努めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

体育協会と連携し、定例会議や研修会等を通じ、スポーツ団体やスポーツ推進委員の支援・育成に努めること。

下半期

今後とも、体育協会やフィッ鳥栖との連携のもと、スポーツ推進委員の支援・育成に努めること。